

南那須地域医療を守る会ニュース

No 1
2011.5.1
代表 米山正人
028-645-5058

3・11大震災を全職員で乗り切る

未曾有の被害をもたらした、未だに各方面に深刻な影響を与え続けている東日本大震災ですが、震度6の地震に見舞われた際、那須南病院では医師を含む100名の全勤務職員が一丸となり90名の入院患者を緊急避難させています。90名のうち、約45名の患者さんを正面入り口の外、駐車場の安全な場所に移動させ、その後の対応に万

全を期しましたが、天候が悪化し、雨模様となり、気温も低下する中で、注意深く患者さんを病院内へ無事戻すことが出来ました。全職員の皆様、本当にお疲れ様でした。



何とか見つけだし、増やしたい看護師さん

那須南病院での看護師不足問題は相変わらず深刻です。昨年11月の新聞報道のように、現在同病院の療養病床50床は看護師不足の為に休止状態です



が、地域の要望に答えようと再開めざして関係者が日夜奮闘しております。

去る2月には同病院、那須烏山市及び那珂川町の財政、健康福祉担当者を中心に再開検討委員会が発足し、具体的に動き出していますが、どうしても看護師不足問題の解消なしには問題解決に向けて話が前進しないのが実情です。どなたでも結構です。看護師さんについての情報があれば是非とも提供してください。

昨年に引き続き、今年も病院ボランティア活動として来る7月10日(日)と10月16日(日)の午前7時から病院周りと中庭のゴミ、草むしりを予定しております。作業は1時

今年の病院ボランティア
草取り、ゴミ掃除予定は

間ほどの軽作業ですので、多くの方のご参加をお願いいたします。
道具は軍手、草むしり用カマ程度で結構です。集合場所は那須南病院駐車場。小雨決行予定です。

自家発電が活躍 子供を含む5名の在宅患者を緊急受け入れ!

ー福島からも感謝!

地震発生の直後、広い地域で停電が発生、いたるところで暗闇と混乱に陥りましたが、ここでも那須南病院の緊急用自家発電が多く

降は福島県からの被災者が多数訪れ、那須南病院で受診、手当てを受けています。栃木県のお隣県で、お付き合いも深く、長い福島県の被災者からも那須南病院の重要性、必要性が再認識され、感謝されています。

の市民の命を守りました。在宅で電気医療器具を使用していた子供を含む5名の方が、那須南病院に緊急入院、自家発電からの電源供給を受けて、事なきを得ました。

全国的に地域医療が崩壊して行く中、南那須病院を中核とした地域医療を守るため、2009年に『南那須地域医療を守る会』が発足しました。

この5名の緊急患者さんは3月11日の夕方から13日までの間、病院の専門スタッフから通常時と遜色のない、治療とケアを受ける事ができました。また3月14日以

これまでに、講演会や勉強会、病院ボランティア活動等行なっていますが、活動を支える会員を募集しています。
会費は年間で1000円です。宜しく願います。